

2008年7月18日

## 鷗朋会 第48回理事会 議事録

- 日 時：7月18日（金）18：00－20：00
- 場 所：海洋システム工学科会議室
- 出席者：田中紀男，外山嵩，浜本剛実，城野隆史，増田征二，岡田博雄，杉山和雄，吉久英昭，定兼廣行，西田正孝，奥野武俊，岩崎泰典，池田良穂，三宅成司郎，大塚耕司，有馬正和，山田智貴，坪郷尚，片山徹，新井励，谷口友基，前川和也（以上22名 敬省略）
- 資 料：第48回理事会議事次第

1. 開会挨拶(片山理事)
2. 会長挨拶(定兼会長)
3. 新任教員，山崎教授(欠席)，新井助教，二瓶助教，桃木助教の紹介・挨拶
4. 議長選出  
片山理事より岩崎副会長が推薦，承認.
5. 議事

### (1) 報告事項

#### a) 平成19年度会計報告(山田理事)

- 昨年度の会費の回収率は約49%と例年(60%程度)に比べ減少した。会誌の発行が1回(11号)だったことが原因の1つと考えられる。今年度は会誌をすでに1回発行(12号)している現時点で49%の納入率となっている。今年度は13号も発行するため、納入率は60%程度いくのではないかと想定しているとの報告。
- 前回の理事会で鷗朋の郵送方法(費用)を再度検討してほしいとの議事を受け、費用削減効果が得られると候補にあがっていたメール便での郵送方法を検討した。①鷗朋の郵送数が、費用削減効果の得られる口数に達していないためかえって割高になる。②郵送先が住所変更等で不明である場合、現行の郵便による郵送なら返却されるが、メール便では返却されないため不便である。①，②より今後も郵便による郵送を提案。

上記報告を受け、以下同窓会の財政に関連した提案についての議論があった。

- 会費を払ってない方，亡くなられた方にも郵送している現状を経費削減の観点からも再度検討する必要がある。
- 上記を検討する過程で返信のない会員を一方向的に切るとは会員数を確保する上でも問題となる。そのため、まずは督促状を送ってみる等

の方法も検討するべきではないか提案。

- 理事会も年一回でもいいのではないか。
- 若い人にはメールで、年配の方には郵送するなど、再度郵送方法を再考する必要があるが、メールアドレスは個人情報の観点から問題になるかもしれないので、ホームページ上からダウンロードする方式があってもよい。
- 同窓会としては会員から来るというより、同窓会から会員にアプローチする性質ではないかと考えている。したがって、ホームページからダウンロードするというよりは電子メールなどにより配布するほうが同窓会に馴染むのではないか。いずれにしても電子化を検討する必要がある。

以上の会計報告に対する質疑とともに、城野監事より会計監査報告がなされ、平成 19 年度会計報告が承認された。

b) 編集委員会報告（三宅編集委員長）

- 鷗朋 12 号の内容説明。
- 鷗朋 13 号(10 月発刊予定)の内容説明。
- 鷗朋の表紙が不足して来たため、再度収集することを検討している。

上記報告を受け、以下の議論および提案があった。

鷗朋に博士、修士、学士各論文の中身をもう少しわかるようにする。

同窓会のホームページから学科ホームページ中の各論文概要にリンクするように提案。

c) 鷗朋会賞の報告（池田理事）

本会より修士論文に対して賞を出していたが、学士に対しては実施していなかった。そのため、昨年度から鷗朋会賞を学士に出すようにした。事後承認となるが、是非承認して頂きたいと提案され、承認された。

d) その他の報告

- 全学同窓会、工学部同窓会の庶務理事に池田理事が着任と報告。（定兼会長）

この報告を受け、追加で池田理事と奥野理事より以下の補足説明があった。

大学当局より全学同窓会に、H17、H18 卒業生にアンケート調査を実施するにあたって、卒業生へのアンケート依頼への協力要請があった。目的は大学評価に用いられる。

全学・工学の同窓会の池田理事に同窓会活動の活性化と大学との連携を強化する方向でとりまとめを依頼・承諾して頂いた。現在、同窓会と

しても SHARP と連携すること、名簿の管理等も大学が積極的に活用できるように大学として検討している。

(2) 協議事項

a) 新理事推薦に関する件

- 新理事として谷口友基氏，前川和也氏(大学 56 期)の両名が推薦され，承認された。
- 木村五雄理事(大学 4 期)が体調不良のため長尾修氏が新理事に推薦され承認された。

b) その他

- 池田理事より現在本学科が取り組んでいるテクノラボツアーの説明があり，同窓会生の参加・交流の機会があったことが報告された。
- 池田理事よりシップオブザイヤーの説明およびクリアーファイル等，日本船舶海洋工学会の現状および取り組みが紹介された。
- 片山理事より今年度の青少年サマーセミナーの紹介および本取り組みが日本船舶海洋工学会関西支部長賞を受賞したことが報告された。

以上 文責 新井 励